

くらし・防災・ 平和の願いを 市政にとどけます

ご挨拶

小学校教員36年、何よりも子どもたちに最善のものを、子どもたちに平和を。お金の心配なく、子どもたちが思い切り自分の好きなことができるように、教育費の無償化で、子育て世代応援、年金充実で、高齢者に安心を。

日本共産党

市会候補

大軍拡ストップ

わたなべ俊三

渡辺しゅんぞう

お約束

- 水道料金の減免制度を延長。
- 18歳まで医療費負担ゼロ。
- 学校給食費・教材費の負担ゼロ。
- 国保料を1世帯1万円引き下げ、介護の負担を軽減。
- 市主体の地域公共交通の整備、市道・歩道拡幅、通学路安全対策。
- 小学校の給食室廃止反対、公立幼稚園3園維持、待機児解消保育。
- 住宅リフォーム助成制度、山間部の地域産業振興等で雇用拡大、地域経済活性化。
- 宇治川堤防や河川・水路の強化。土砂災害対策拡充。

【現在】宇治市議会議員(3期)。市議会建設水道常任委員(前市議会副議長)。宇城久・防災を考える市民の会幹事。新田町内会顧問。

【略歴】1948年1月22日京都市伏見区深草生まれ。立命館大71年度卒業生総代。小学校教員36年、藤森こどもまつり実行委員長、京都市教職員組合中央執行委員及び左京・東山・山科各支部長、東山地区労働組合協議会議長。

渡辺しゅんぞう選挙事務所 宇治市菟道丸山1番地の156 アミスタビル1階 TEL.0774-34-1272

頒布責任者/石川和司 宇治市宇治里尻17 印刷所/有ニュープリント 京都市右京区西京極堤下町12-2

証紙

『水道料金減免の延長』『介護料金など負担軽減』

『18歳までの医療費・給食費の無料化』を

大軍拡より平和・命・暮らし 物価高対策、賃金・年金の引き上げ あなたの願いを日本共産党へ!

岸田政権は、「専守防衛」を投げ捨て、敵基地攻撃能力を保有するために、5年間で43兆円に軍事費を増やす大軍拡に突き進んでいます。その財源は、増税や借金、暮らし予算の削減で確保するとしています。

党をつくって101年、反戦平和をつらぬいてきた日本共産党は、自民・公明・維新が進める大軍拡をストップするため全力をあげます。大軍拡よりも暮らしと営業を守り、住民の福祉を良くする自治体本来の仕事をすすめます。

選択の基準
ハッキリ

太閤堤跡の歴史公園は5000万円赤字 北陸新幹線「京都延伸」に2兆円以上

80億円規模の歴史公園事業は、2021年10月オープンからの半年間で約5,000万円の赤字。ミュージアムの入館者数は、見込みに対して14%の8083人（無料入館者含む）でした。

日本共産党は、予算削除を3度提出。契約にも反対。しかし、最終的にオール与党が予算と契約に賛成し推し進められました。

自民・公明が強引に決定した北陸新幹線の京都地下延伸を維新も一緒に推進。

日本共産党は、過大な税金投入と環境破壊の計画の中止を求めてきました。住民の運動とも連携し、当初の2023年度春の着工を許していません。

開発優先のオール与党か、市政をチェックし、税金のムダ使いを許さない日本共産党か。選択の基準がハッキリしてきました。

宇治市議会での態度は

日本共産党
暮らし応援のため財源も示し具体的提案

日本共産党		自民、公明、維新・宇治党、うじ未来（立憲・国民など）	
条例案・修正案	水道料金の減免（減額）を半年間に延長〔23年3月〕	市の財政調整基金33億円から2億円活用	
	子どもの医療費18歳まで無料に〔23年3月〕	府の制度拡充による市の負担軽減分6千万円などを活用	
	国保料の1世帯1万円値下げ18歳までの国保料無料に〔23年3月〕	取り止めた繰入金2億円、約8億円の基金を活用	
意見書案	インボイス制度の実施中止を求める〔23年3月〕	× 理由も述べず 全てに反対 市民の暮らし応援の願いに背を向ける	
	統一協会の疑惑究明と被害者救済を求める〔22年9月、12月〕		国会・政府に対して、宇治市議会として意見を提出するため提案
	物価高騰に対して、消費税5%への緊急減税及び、賃金、年金の引き上げを求める〔22年9月〕		

歴史公園など大型開発に税金を注ぎ込む 自民 公明 維新 などのオール与党議員か
物価高騰対策、暮らし・子育て・福祉などの願い実現の 日本共産党議員か